

## 令和4年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)

### 1 予算概要

(単位：千円)

項 目	4年度 予算案	3年度 予算	増△減	増 減 理 由
歳 入	513,359	482,933	30,426	
掛金収入	426,000	408,000	18,000	実績ベース(71,000人)に設定(3,000人増)
基金繰入金	0	0	0	
その他収入	1,010	1,748	△738	広告収入減
他会計繰入金	15,296	15,296	0	
前年度繰越金	71,053	57,889	13,164	
歳 出	513,359	482,933	30,426	
総務費	137,581	117,391	20,190	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ改修費(スマホ対応)</li> <li>・賃借料、保守費(OSサポート切れによる機器の更新)</li> <li>・準備業務費(受託事業者変更時の準備費用)</li> <li>・審議会WEB開催運営費等</li> </ul>
給付事業費	176,922	176,455	467	慶弔金、祝い品の増
福祉事業費	197,846	188,067	9,779	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギフト券等補助費用の追加</li> <li>・コロナ対応費の増</li> <li>・ニュース等発行費用等</li> </ul>
基金積立金	10	20	△10	
予備費	1,000	1,000	0	

#### 【増額項目】

##### (1) 総務費用

###### ア ホームページ改修費

**5,000千円** (4年度のみ)

会員サイトをスマートフォン対応するために計上しています。改修後サイトは令和4年2月頃よりテスト稼働、4年度より本格稼働の予定です。

###### イ 賃借料・保守費

9,800千円(3年度(8,751千円)より**1,049千円増**)

事務室設置のリース機器の更新のため増額しています(OSのサポート切れによる)。

###### ウ 準備業務費

**8,800千円** (4年度のみ ※受託事業者変更時のみ)

現受託事業者との契約が4年度までとなるため、プロポーザルにより受託事業者が変更した場合にかかる準備期間の人件費等の費用です。期間は令和5年1～3月の3ヶ月分で計上しています。

###### エ 審議会WEB開催運営費

**1,650千円** (4年度のみ)

審議会をWEB開催に対応するため、システム契約費用等を計上しています。

※他、会員数を実績ベースにしたことに伴い運営事務費、一般管理費を**3,691千円増**しています。

## (2) 給付事業

### ア 慶弔金

155,738千円（3年度（155,552千円）より **186千円増**）

### イ 祝品

21,184千円（3年度（20,903千円）より **281千円増**）

※ア、イとも予定件数の増による

## (3) 福祉事業

### ア ギフト券等補助費用

11,398千円（3年度の他の複数の項目から統合し新設。 **3,144千円増**）

新型コロナの影響によるコンサート・スポーツイベント等の減少に対して、利用者増のため、オンラインショップ、コーヒーチェーン等で使える補助券の発行費用。

### イ コロナ対応費

6,000千円（3年度（2,000千円）より **4,000千円増**）

緊急事態宣言等出た場合の、チケット・イベント関連のキャンセル費用等です。コロナ禍でのニーズを考慮し計上しています。

### ウ ニュース等発行費用

36,666千円（3年度（34,920千円）より **1,746千円増**）

会員数増見込みにより、ニュース・ガイドブック等発行費用を増額しています。

※他、ア～ウの消費税として、**889千円**を計上しています。

（福祉事業は、全体を“委託料”として計算するため、消費税が各項目に含まれていないため、別途記載をしています）

## 2 事業概要

### (1) 給付事業

結婚、出産、入学祝、結婚記念祝、傷病見舞金、死亡弔慰金、加入褒賞金（5・10・15年）、小・中学校入学祝品・永年勤労祝品の8種類

（単位：千円）

項目	4年度予算案		3年度予算		増△減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
慶弔金	17,325	155,738	16,605	155,552	720	186
祝品 （小・中学校入学、 永年勤労）	4,571	21,184	4,567	20,903	4	281
計	21,896	176,922	21,172	176,455	724	467

### (2) 福祉事業

ハマふれんどで直接提供する事業と総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」を組み合わせ、多様なサービスを提供します。

※ハマふれんど独自事業として提供するものは「独自」と表記、「ベネフィット・ステーション」で提供するものは「B・S」と表記しています。なお、施設数等は提供予定数です。

## ア 健康を促進するサービス

- (ア) 人間ドック等健診の補助（独自）  
会員と配偶者を対象に、検診機関での人間ドック・生活習慣病健診・脳ドック受診の優待利用提供  
(人間ドック補助：会員と配偶者対象それぞれ年度内1回・各5,000円補助)
- (イ) スポーツ大会の企画・開催（独自）  
ソフトボール、フットサル、テニス、ボウリング等の大会の企画・開催
- (ロ) スポーツ施設の優待あっせん（B・S）  
市内及び近郊のスポーツクラブ優待利用提供
- (エ) EAP（メンタルヘルス施策）相談ダイヤルの提供（B・S）  
健康に関する無料相談ダイヤル設置

## イ 生活を支えるサービス

- (ア) 育児支援サービスの提供（B・S）
  - ・託児所やベビーシッターの提携割引、育児用品・幼児教育の優待あっせん等
  - ・一時保育、月極保育等への育児補助金
  - ・育児、託児についての無料相談ダイヤル設置
- (イ) 介護支援サービスの提供（B・S）
  - ・介護保険対象サービス、介護用品購入への補助
  - ・介護用品の提携割引
  - ・介護についての無料相談ダイヤル設置
- (ロ) 家事サポートサービスの提供（B・S）
  - ・家事代行業者との提携割引、宅配弁当の割引
  - ・家事代行サービスへの補助
- (エ) 家事代行サービス補助（独自）  
家事代行サービスへの独自補助
- (オ) 各種研修の企画・開催及び優待あっせん（独自）  
新入社員セミナー等の企画・開催
- (カ) 各種資格取得の支援（B・S）  
無料eラーニングによる研修の利用提供（700タイトル以上）
- (キ) 出合いの場の設定及び支援（独自+B・S）
  - ・婚活恋活パーティー等の企画・開催
  - ・結婚相談所等での会員特典
- (ク) 優待価格で購入が可能な特約店舗等の提供（独自+B・S）
  - ・有名衣料品チェーン店の商品券を優待価格提供
  - ・会員証、クーポン提示による優待利用提供
- (ケ) 生活電話相談の実施（B・S）  
冠婚葬祭マナー、税務相談等について無料相談ダイヤル設置

## ウ 余暇を有意義にするサービス

- (ア) 宿泊補助（独自+B・S）  
宿泊補助券 年間最大10,000円（@2,000円×5泊（人）まで）
  - ・指定旅行会社での国内外ホテル、旅行商品等に対する利用補助
  - ・直接予約が可能な宿泊施設に対する利用補助
  - ・ハマふれんどで実施する宿泊イベントに対する利用補助
  - ・ベネフィット・ワン直営宿泊施設
  - ・宿泊補助利用施設の拡充

- (イ) 各種旅行ツアー等の優待あつせん（独自）  
宿泊施設の特別プランなどの利用提供
- (ロ) 各種チケットの優待あつせん（独自+B・S）  
野球・サッカーなどのスポーツ観戦、ミュージカル・歌舞伎・コンサート、  
落語等の公演チケットの優待提供
- (エ) 飲食店等優待価格での提供（独自+B・S）
  - ・有名飲食チェーン店の商品券を優待価格提供（「ギフト券等補助費用」はここに  
該当）
  - ・デジタルギフトの優待価格提供
  - ・会員証提示やWEBサービスによる優待利用提供
  - ・味覚狩り等の割引補助券提供
- (オ) 東京ディズニーリゾート特別利用券の提供（独自）  
東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券
- (カ) レジャー施設の無料入場イベントの提供（B・S）
- (キ) バスツアー優待あつせん等（独自）
  - a 様々な名所等を季節ごとに楽しめるバス旅行等の優待利用提供
  - b 日帰りツアー補助券 年間最大5,000円  
指定旅行会社でのバスツアー等、日帰りツアーに対する利用補助
- (ク) その他、事業者や会員及びその家族の福利厚生に寄与するサービス（独自+B・S）
  - ・各種オンラインセミナーの企画・実施
  - ・各種レジャー施設の優待利用提供
  - ・主催講座・教室・体験会などの企画・実施
  - ・カルチャーセンター等の優待利用提供

### (3) ホームページの管理運営

事業紹介のほか、各事業、各種補助券申請等のホームページによる受付

### (4) 加入促進

- イ 未加入事業所へのダイレクトメール発送
- ウ 関係団体等と連携した周知（広報紙等による加入促進）
- エ 新規加入事業所紹介制度の実施
- オ 交通機関等加入促進に効果のある媒体への広告掲出
- カ 加入促進担当者による、架電及び訪問による加入促進
- キ その他加入促進に有効な活動の実施

### (5) ハマふれんどニュース・ガイドブック等の発刊

- ア 「事務の手引き」の配布（新規加入事業所対象）
- イ 2022年度版「ガイドブック」による各種サービス内容の紹介（全会員対象）
- ウ 「ハマふれんどニュース」による事業への参加募集（隔月発行・全会員対象）
- エ 「ハマふれんどニュース」臨時号による事業内容周知等（年2回）
- オ 事業紹介パンフレットの作成及び配布（未加入事業所へのPRに活用）

### (6) 会員ニーズ等の把握

- ア 「ハマふれんどニュース」による全会員を対象としたアンケートの実施（年1回以上）
- イ 事業の参加者などを対象としたアンケート等を実施
- ウ 福祉事業の応募・利用状況、競争率等による会員ニーズの把握
- エ ホームページ上での会員意見の募集（「会員様ご意見BOX」の設置）

【参考：会員数の状況】

1 会員数の推移

	各年度3月現在の加入者数		対前年度増減	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
28年度	4,570社	62,906人	△149社	△620人
29年度	4,540社	64,686人	△30社	1,780人
30年度	4,493社	66,966人	△47社	2,280人
元年度	4,472社	68,999人	△21社	2,033人
2年度	4,414社	71,358人	△58社	2,359人
3年度 ※10月時点	4,373社	71,618人	-	-

2 新規加入者数の推移

	新規加入者数		増△減 (対前年度)	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
28年度	124社	831人	△10社	△453人
29年度	201社	1,839人	77社	1,008人
30年度	161社	2,032人	△40社	193人
元年度	178社	2,403人	17社	371人
2年度	143社	1,350人	△35社	△1,053人
3年度 ※10月時点	88社	1,508人	-	-

3 脱退者数の推移

	脱退者数		増△減 (対前年度)	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
28年度	273社	2,481人	△93社	562人
29年度	231社	1,063人	△42社	△1,418人
30年度	208社	806人	△23社	△257人
元年度	199社	1,204人	△9社	398人
2年度	201社	971人	2社	233人
3年度 ※10月時点	138社	1,942人	-	-